

男女平等参画をはじめとするさまざまなテーマの本を紹介します。
男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、
ぜひ活用ください。



企画運営委員さんに
聞いてみました

デートDV について

今回の特集は若い方達にぜひみてほしい内容です！わかっていてもついても、想いがエスカレートしてつい出してしまう言動。大好きな人と長く付き合っていくためにお互いを尊重し合える関係でありますように。 **あずみん**



わたしはわたし。あなたじゃない。 10代の心を守る境界線「バウンダリー」の引き方

著者 | 鴻巣 麻里香
出版社 | リトル・モア

この本は10代が抱えがちな人間関係の具体例を交え、自分と相手を大切にするための「バウンダリー(境界線)」を学べます。学生だけでなく、10代のお子さんに関わる保護者や教師にもお薦めです。



シングル単位思考法でわかる デートDV予防学

著者 | 伊田 広行
出版社 | かもがわ出版

デートDVの具体例を挙げるとともに、これをなくすためには相手と自分を一体化した「カップル単位」の考え方を改め、相手は相手、自分は自分という「シングル単位」の視点を持つことが重要であると解説されています。

デートDVを予防するために読んでいただきたい1冊です。



こどもバイアス事典 「思い込み」「決めつけ」「先入観」に気づける本

著者 | バウンド 監修 | 犬飼 佳吾
出版社 | カンゼン

DVが起こる原因のひとつに「バイアス」があると思います。見開きにつきひとつずつ説明されており、自分が知りたいページだけ読むことができる本なので小学校高学年にも役に立つ内容です。自分自身が持つバイアスを発見してみましょう。

「これくらい普通」「好きだから仕方ない」と見過ごされがちな言動が、デートDVの始まりであることも少なくありません。相手を思いやることと、相手をコントロールすることは全く違います。自分も相手も安心して「イヤだ」と言える関係を大切にしたいものです。この特集が、自分や大切な人を守るための小さな気づきとなり、家族や友人と話し合うきっかけになれば幸いです。 **I**

デートDVで考えたいのは、「好き」という感情だけでなく、「対等」という考え方です。この「対等」とは、全て同じではなく、相手にも自分と同じように意思や気持ちがあることを忘れない、ということです。そのことが、お互いを尊重し合える関係につながると 생각합니다。本当の意味での「対等」とは、自分の持つ力で相手を支配しないこと、そして、その力を相手を支えるために使うことでもあると思っています。 **umi**

身近な人との関係ほど、友だちにも相談しづらく、ひとりで抱え込んでしまうことがあると思います。しかし、悩みを話せる場所は友だちだけではなくありません。学校の先生やスクールカウンセラー、電話やSNSの相談窓口など、多くの人が支えてくれますし、必ず解決へ導いてくれます。みなさんにとって『ひとりで悩まなくていいんだ』と思えるきっかけになればうれしく思います。 **奇澤 真奈美**

今回の特集を通して、デートDVは特別な人の問題ではなく、誰にでも起こりうるのだと感じました。親しい相手だからこそ、自分の思い込みや甘えが出てしまうこともあります。「親しき中にも礼儀あり」、相手を大切にすると気持ちと感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。 **有路 登志紀**

「好きなら当然」という思い込みが、相手を支配し傷つける「デートDV」につながることもあります。無意識に相手を支配・コントロールしようとしていないか改めて考えてみませんか。大切なのは互いの尊重、対等な関係を築くことです。「おかしいかも」と感じたらひとりで悩まず、相談窓口へつながってください。 **内海 杏奈**

子ども同士に起こるDVは環境による影響が大きいです。未熟で不器用で、攻撃的になったり萎縮しやすいのは当たり前です。だからこそおとながどう関わるかが重要であり、この冊子はそのヒントになると思います。 **オオモリタケン**

ここに書いてあることに心あたりはないですか？好きな人とつき合っているのに、「苦しい」「怒らないで」と言えない。そんな気持ちになったら赤信号。誰かに相談してみてもいい。デートDVの「底なし沼」にはまる前に。 **うさこ**